



# つながる

協創自 校  
力造主 訓

R8. 3. 6(金) No.21 立野 健一

## 3年生修了式～明日は卒業式～

本日、3年生の修了式がありました。「第3学年の課程を終了したことを

証する」と書いてあると思います。1年生・2年生の修了式は24日に行われます。しかし、3年生の場合はそれだけでなく「中学校の課程をすべて修了した」という意味と、「義務教育の課程をすべて修了した」という意味も含まれています。だからこそ、3年生の修了式の話は1・2年生に話す内容とは若干異なります。私が話した内容の要点を下に書きます。

- ・中学校三年生の課程を修了したこと、中学校の全課程を修了したこと、義務教育の全課程を修了したことへの祝福の思い。
- ・今年は「学校の顔」として、1・2年生をしっかりと引っ張ってくれたことへの感謝。
- ・「楽しませてもらう」というお客様の態度ではなく、「楽しもう」「盛り上げよう」という主体的な姿がたくさん見られたこと。
- ・たくさんあり成功の秘訣のなかで、一つを紹介。⇒要約すると中途半端が一番ダメという話です。
- ・「人間力」で勝負できる人を目指してほしいという願い。
- ・卒業式は、「卒業生の門出を祝う式」+「お世話になった方への恩返し式」+「自分の成長した姿を見せる式」であること。
- ・新たな門出として、一生残り続ける式をともに創り上げよう。
- ・様々な事情で卒業式に参加できない生徒もいる。そんな生徒への心配りも忘れない。

こんな内容で話をしました。実は、先日の卒業式の練習の際にも一言だけ話をさせていただきました。それは私の娘の話です。私の娘も今年三年生。中学校卒業です。卒業式は…明日です。ですから、娘が証書をいただくところ、歌を歌うところ、最後の学活には見に行けません。だから、三中の三年生に自分の娘もだぶらせて、今日の練習を見ていたら、涙が出そうになったという話をしました。親はそんな思いでみんなの晴れ姿を見に来るのだから、それに応えよう、という内容の話をしました。

ただ、様々な事情で式に参加できない生徒のことも話しました。式に出ることだけが大切ではありません。式に出ることができなくても、卒業後に自立・自律した生活を送り、自分で幸せを掴もうと行動できれば、それが一番大切だと思います。人はついつい、自分がやっていること、置かれている状況が当たり前だと考えがちです。でも必ずしもそうではありません。楽しみつつ、感動しつつ、そこに参加したくても参加できない生徒もいることを、心のどこかでわかってほしいなと思います。

在校生は、体育館の広さの関係上、全員参加はできません。参加する生徒は、在校生の代表として、心に残る卒業式をともに創り上げる気持ちで参加しましょう。

## 2月後半から3月の頑張り～1・2年生～



左の写真は、2月20日（金）に行われた1・2年生の授業参観でのコサージュづくりの様子です。たくさんの保護者の方々にご参加いただき、生徒と一緒に作っていただいたり、生徒に詳しく教えていただいたりしました。本年度最後の授業参観にお集まりいただき、誠にありがとうございました。明日の卒業式と、4月の入学式で使わせていただきます。

真ん中の写真は、2月27日（金）に行われた1年生の性教育講演会の様子です。助産師の島津恵子様にお越しいただき、「自分を大切に、生命を大切に～命のつながりを通して、自分の大切さを知る～」という演題でお話をさせていただきました。これから長い人生を歩んでいく生徒たちにとって、非常に大切なお話でした。

右の写真は、2月25日（水）に行われた2年生の救命救急法の講習の様子です。いつでもそんな場面に遭遇するか分かりません。私たち職員も何回も何回も講習を受けました。何回やっても「あ、そうだった！」となるときがあります。いい学びができました。

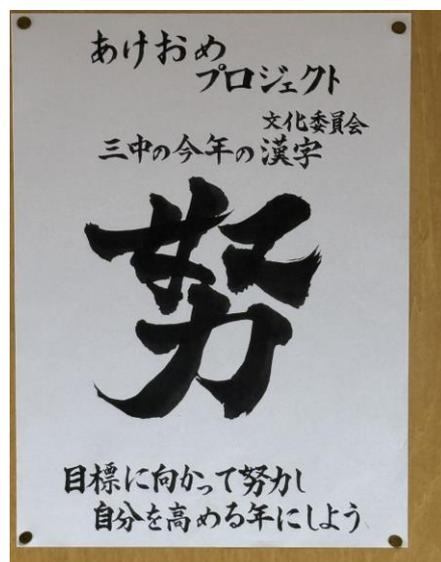
異年齢の方々との交流、生命誕生、救命救急など、まさに「生きる力」と言ってもいいでしょう。学校じゃなければなかなか学べない内容だと思います。

### あけおめプロジェクト 文化委員会

## 「三中の今年の漢字」

正直、凄いなと思いました。こんなことやるんだ……と思って感心しました。

そして選んだ漢字が……



### 「努」目標に向かって努力し自分を高める年にしよう

本当に感心します。清水寺ではないけれど、「今年の漢字」をやろうと決めて、実際にやった実行力。「努」のほかにも候補はあつたはずなのに、自分を高めるための一文字を選んだ文化委員会に拍手です！あとはこれを単なるイベントに終わらせないことです。「努」が文化委員会の様々な計画に反映されること、いや、コラボして他の委員会や執行部の計画にも「努」が反映されたらとても嬉しいです。自分たちの学校は自分たちで盛り上げていく。旧執行部や3年生が残してくれたものを引き継いで、新執行部や1・2年生が新生三中を作り上げてくれることでしょう。